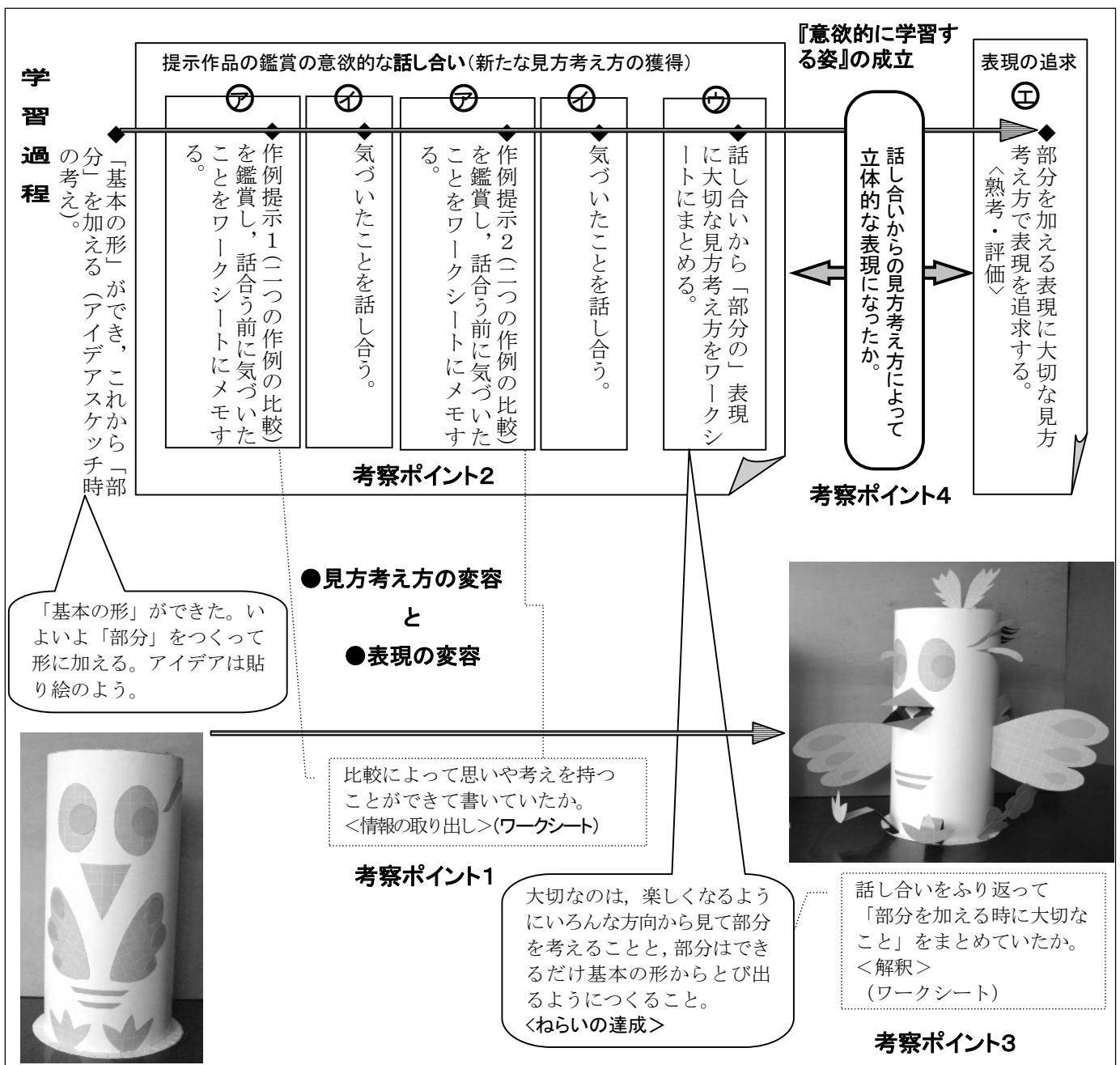


## D-1 考察

### 1 考察の方法

本時における『意欲的に学習する姿』の成立は、作例鑑賞の話し合い<情報の取り出し>が、基本の形に加える部分の表現を追求するための新たな造形的な見方考え方を獲得する<解釈>こととなり、その後の表現が立体的な表現<熟考・評価>になることである。したがって考察することは、本時における「思いや考えを持って話し合うこと」の状況、本時における教科のねらいの達成状況、その後の表現の状態である。考察は下の図1の㉖~㉙のように、提示作品に対する子どもの気づき、話し合われたこと、話し合いからの子どもの見方考え方を、主にワークシートや話し合いの記録をもとに洗い出す（本時案の評価）。そして、話し合い後の表現追求㉙の状態を対応させて、認識と表現の相互関係から『意欲的に学習する姿』が成立したかをとらえたい。一人一人のデータから達成の姿を分類し、学級人数に対する割合にして数値化するなどして、全体的な学びの様相をできるだけ客観的にとらえようとした。



考察のポイントと『意欲的に学習する姿』の成立について

## 2 各考察ポイントの結果

参考: アイデアスケッチ段階 (ABについて特に指導がない段階。全員が正面から見た状態のスケッチで、簡単で大づかみな表現をしていた。)

- ・すでにABが少しながらも現れている子どもは34% (比較的現れている6%+少し現れている28%)。あとの全てはBが現れず、部品全体を貼り付ける考えであり、全体の形が筒のままの状態になっていた。

### 考察ポイント1: 本時の資料提示に対する子どもの気づきの状態

資料の比較によって思いや考えを持つことができているか。<情報の取り出し> (ワークシート)

- ・提示①からはイを、②からはウを、全員がよい方として判断できた。全員がワークシートにイやウのよさを記述でき、思いや考えとして持つことができた。
- ・資料からの適切な情報の取り出しとして、 Aに関すると感じ取れた… 86%

本時で大切な情報を取り出しやすい資料作成と提示のし方、記述による思いの言語化は有効。

Bに関すると感じ取れた… 100%

### 考察ポイント2: 気づいたことをもとにした話し合いの状態

自分が得られた考えをわかりやすく話そうとしたり、友だちの考えに関心を持って聞いたりしていたか。(行動)

- ・挙手多く、意見を述べようとする子が多く見られた。
- ・意見発表は記述をそのまま読むのではなく参考にしながら、皆に対して話し言葉で発表できた。
- ・「同じ」や「似ている」や「違う」を意識しながら聞いたり話したりできた。また、板書を見ながら自分の考えの立場を意識できた。

「同じです」の子どもにも自分の意見を言わせてみるなど、話し方のルールの活用や板書での言葉の加え方は有効。

### 考察ポイント3: 鑑賞や話し合いの後 本時段階でのABの感じ取りの状態

話し合いをふり返って「部分を加える時に大切なこと」を適切な内容でまとめられたか。<解釈> (ワークシート)

まとめの記述から	ABとも感じ取れた… 60%	
まとめの記述と鑑賞の記述から	Aはおおむね感じ取れた	Bは感じ取れた… 17%
まとめの記述と鑑賞の記述から	Aを少しは感じ取れた	Bは感じ取れた… 9%
まとめの記述と鑑賞の記述から	Aは不十分	Bは感じ取れた… 11%
まとめの記述と鑑賞の記述から	Aは不十分	Bはおおむね感じ取れた… 3%

本時レベル

= 追求的な鑑賞と話し合いok + AB把握ok

すじ道立てて考えられる段階的な三つの思考の場の設定、言語化と話し合い、板書は有効。

### 考察ポイント4: ABの認識と表現の相互関係による『意欲的に学習する姿』成立の状態

話し合いからの見方考え方が表現に現れ、立体的な表現になったか。<熟考・評価> (作品)

- ・Aは現れた… 97% (現れた…79% おおむね現れた…18%) (未完成で) 現れなかった… 3% 1名
- ・Bは現れた… 100% (現れた…82% おおむね現れた…18%)

単元レベル  
= 追求的に把握したABok + ABを(自立的に)追求した表現ok

< 現れた=○ おおむね現れた=○ > 全39名

A○B○… 69% 27人中未完成3人

A○B○… 10% 4人中未完成2人

A○B○… 8% 3人中未完成2人

A○B○… 10% 4人中未完成3人

A×B○… 3% 1人中未完成1人

表現活動での追求課題ABの確認やABを観点にした相互鑑賞の場の設定は有効。

